

## 近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



李傑之筆

新令之出

癸卯年真免走控

漢名可字叔方林系

五月

經濟學部  
研究室  
5  
1187

38458

経済学部  
研究所

大谷村外家天光寺

高野山

内

八幡山

三ノ木

六ノ木

七ノ木

四ノ木

六ノ木

下田

辛

高野山

田

高野山

高野山

高野山

遠



沙撈越在八中半末字七

長田

沙撈越在八中半末字七

中下

沙撈越在八中半末字七

山端

沙撈越在八中半末字七

中下

沙撈越在八中半末字七

知方

沙撈越在八中半末字七

中下

沙撈越在八中半末字七

一發知

沙撈越在八中半末字七

中下

沙撈越在八中半末字七

一三三

リ村村田

沙撈越在八中半末字七

沙撈越在八中半末字七

沙撈越在八中半末字七

沙撈越在八中半末字七

沙撈越在八中半末字七

知方

知方

知方

知方



只年村外... 年... 年...

一... 年... 年... 本因

指... 年... 年...

比... 年... 年...

比... 年...

三... 年... 年...

四... 年... 年...

五... 年... 年...

年... 年...

田... 年...

所... 年...

上... 年...

中... 年...

下... 年...

九斗沙事之答二

本初の道

三斗三斗七斗沙事之答二

初斗地仕事

拾斗事之答事之答二

美作事之答事

沙拾斗事之答事七斗事之答事

七斗沙中事之答事

七斗沙中事之答事

引斗事之答事

沙事之答事

内

八斗七斗事之答事

石

九斗事之答事

下

沙拾斗事之答事

中石

五斗事之答事

下

沙拾斗事之答事

下石

沙拾斗事之答事

下

沙拾斗事之答事

初方

沙拾斗事之答事

下

沙拾斗事之答事



一 高八拾五石二斗九升七合七勺

り村新田

拾七石七斗七合七勺

〇 〇

三斗九升七合

三斗九升七合

四斗八升

普田川

八斗六升七合七勺

荒細

三石三斗九升七合

普田川

三石九斗九升七合七勺

新田川

七斗七升七合七勺

三斗九升七合

三斗九升七合七勺

三斗九升七合

水石七斗七合

並田川

川三斗九升七合七勺

沙三斗九升七合七勺

〇

九石七斗七合

高八斗

五斗七升七合七勺

高八斗

拾五斗八升七合七勺

高八斗

沙七斗七升七合七勺

高八斗

五斗七升七合七勺

高八斗

手出拾七石中二石有分  
五石有百石中一石有分三石

乃係手村却身交先達一室

一石百拾七石或七石各 下田

曰

五石七石八石九石

二石八石三石八石

九石四石九石

六石七石八石九石

三石四石五石六石

拾七石五石七石八石九石  
四石五石六石七石八石九石

南松

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

河内ノ沙路ニハ  
沙路九折ニハ  
口

七折ニ名  
九年七  
口

一高百折ニハ  
口

七折ニ名  
九年七  
口

七名之各

四十年

甲子書拾

卷之三十一

引言ノ出物者百廿四年一七

妙言百二十七年九美分

口

三格言ノ出物者百廿

甲子

引言ノ出物者百廿四年一七

引言ノ出物者百廿四年一七

並知

引言ノ出物者百廿四年一七

並知

引言ノ出物者百廿四年一七

引言ノ出物者百廿四年一七

引言ノ出物者百廿四年一七

並知

引言ノ出物者百廿四年一七

引言ノ出物者百廿四年一七

並知

引言ノ出物者百廿四年一七

引言ノ出物者百廿四年一七

並知

引言ノ出物者百廿四年一七

引言ノ出物者百廿四年一七

五山行記 〇 卷之八

一 古言之指 九 在 八 中 宣 事 三 后 當

丙 中 宣 事 三 后

三 宣 事 三 后

三 宣 事 三 后

三 宣 事 三 后

三 宣 事 三 后

三 宣 事 三 后

宣 事 三 后

宣 事 三 后

宣 事 三 后

宣 事 三 后

宣 事 三 后

宣 事 三 后

宣 事 三 后

河内郡... 山田... 初方... 河内

山田... 初方... 河内... 山田... 初方... 河内

七右右中

山田... 初方... 河内

山田... 初方... 河内

山田... 初方... 河内

山田... 初方... 河内

山田... 初方... 河内

山田... 初方... 河内

五八八七七  
 五九〇七  
 七中八友  
 四七五七  
 山五八  
 二五八  
 川五八  
 抄五八

五八八七七  
 五九〇七  
 七中八友  
 四七五七  
 山五八  
 二五八  
 川五八  
 抄五八

一木山石之野

津島之石

一木山中

治山石

一木山石之野

一木山石之野

一木山石之野

一木山石之野 木田

内

一木山石之野

木田

一木山石之野

木田

一木山石之野

一木山石之野

一木山石之野

一木山石之野



接合部七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日

川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日

川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日

川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日  
川口大工屋敷七十七年八月廿七日

抄言七振八在九中十里十一居十二堂

内

一 振 二 在 三 中 四 里 五 居 六 堂

一 振 二 在 三 中 四 里 五 居 六 堂

一 振 二 在 三 中 四 里 五 居 六 堂

一 振 二 在 三 中 四 里 五 居 六 堂

一 振 二 在 三 中 四 里 五 居 六 堂

一 振 二 在 三 中 四 里 五 居 六 堂

一 振 二 在 三 中 四 里 五 居 六 堂

右川  
高下  
堂下  
堂下  
堂下  
堂下

一 振 二 在 三 中 四 里 五 居 六 堂

右川  
高下  
堂下  
堂下  
堂下  
堂下

一 振 二 在 三 中 四 里 五 居 六 堂

一 振 二 在 三 中 四 里 五 居 六 堂

中東村御年更免年下迄

一高之様御年更免年下迄 本回

三内 辛未年迄

之右之山 朝陽寺 庚辰三刻

八ヶ岳 壬午年迄 四ヶ岳折

山ノ内 甲申年迄

山ノ内 乙酉年迄

山ノ内 丙戌年迄 四ヶ岳

山ノ内 丁亥年迄 四ヶ岳

山ノ内 戊子年迄 四ヶ岳

山ノ内 己丑年迄 四ヶ岳

山ノ内 庚寅年迄 四ヶ岳

一 山ノ内 辛卯年迄 四ヶ岳

山ノ内 壬辰年迄 四ヶ岳

山ノ内 癸巳年迄 四ヶ岳

山ノ内 甲午年迄 四ヶ岳

沙多抄指三言曰古年七卷七〇〇〇

四

武振武人志少年亦休信宗人並知

元年古志少年亦休信宗人並知

沙下

志少年亦休信宗人並知

心林昌

元年古志少年亦休信宗人並知

沙下

志少年亦休信宗人並知

元年古志少年亦休信宗人並知

志少年亦休信宗人並知

一三言指八卷少年亦休信宗人並知

本回

志少年亦休信宗人並知

心林昌

沙多抄指三言曰古年七卷七〇〇〇

志少年亦休信宗人並知

元年古志少年亦休信宗人並知

心林昌







長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御

長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御

長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御  
長谷川大八郎の御



四宮村御年交入之

一 高野宮様御年中御年交入之 本田

御年中七右

四方御年交代

御年中九中御年中

四方御年中

御年中御年中御年中

高野宮御年中

御年中御年中御年中御年中

御年中御年中御年中御年中

御年中御年中御年中御年中

御年中御年中御年中御年中

御年中御年中御年中御年中

御年中御年中御年中御年中

御年中御年中御年中御年中

御年中御年中御年中御年中

御年中御年中御年中御年中

御年中御年中御年中御年中

一高田在九斗年

口長也

日  
乃其者

田方高氏

少言田在八斗年

田知

以米主其之舞也

少斗下

西平在亦其也

仁田村也

一高田在九斗年

本因

日  
田在斗

言其是

斗中亦其者

田知也

亦

田知也

斗中亦其者

田知也

斗中亦其者

田知也

斗中亦其者

抄言三核の在りし事未だ定らざる  
尚ほ核七石に七石ありて  
写中下

一言三石七石ありて

石あり

一石ありて八石あり

石あり

一石ありて八石あり

大正村の事未だ定らざる

一言三石ありて

石あり

一言三石ありて

石あり

一言三石ありて

石あり

一言三石ありて

一言三石ありて

石あり

一言三石ありて

石あり

一言三石ありて

御言書御抄在八寸書八寸書

内

九寸書在九寸書

御田

此年御抄在九寸書

御田

此年御抄在九寸書

御田

此年御抄在九寸書

御田

此年御抄在九寸書

御田

此年御抄在九寸書

一三三三三三三三

リ白紙

三寸半

御田

抄言書御抄在九寸書

此年御抄在九寸書

御田

此年御抄在九寸書

大々言付中多々以人定之事

一言入様出在事年、 古向

五中言

古中七事言

五事七中言

四事七中言

沙言七事七中言

沙言七事七中言

法元中

表征初制川

言四事

古向

口

三事七中言

三事七中言

三事七中言

三事七中言

三事七中言

三事七中言

沙中

三事七中言

平中以三事七中言

古向

山向

古向

古向

古向

古向

一言石之... 口行好田

七和

當於四...

少言...

少年...

永年...

内...

一言八百...

指...

八...

指...

中...

七...

按...

四十八番多

九中九番九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

徳和寺

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

山名山中九番多

百五拾三少... 井下

... 少... 少...

... 少... 少...

... 少... 少...

... 少... 少...

... 少... 少...

... 少... 少...

... 少... 少...

... 少... 少...

百八拾... 上知

... 少... 少...

... 少... 少...

... 少... 少...

... 少... 少...

... 少... 少...

... 少... 少...

... 少... 少...

... 少... 少...



一言百義 無事無事 活 日付白

三言之中 宜言 六

三言名 二并

三言八并 宜言 六

三言之中 七言 宜言 六

三言 三言八并 宜言 宜言 六

三言 三言 宜言 宜言 六

日

山初 宜言 六

山初 宜言 六

山初 宜言 六

山初 宜言 六

三言 宜言 六

三言 宜言 六

三言 宜言 六

三言 宜言 六

三言 宜言 六

三言 宜言 六

三言 宜言 六

三言 宜言 六

三言 宜言 六

山初 宜言 六

山初 宜言 六

山初 宜言 六

山初 宜言 六

山初 宜言 六

山初 宜言 六

山初 宜言 六

山初 宜言 六

此年名三言孫善名三少弟名善文

此書村知年真光定之夏

一之百言也年一市官家文 下由

毛中九市官名三九少  
三少之末  
上知妙結之志

上知表則所  
中知表則所

即知多日所  
四知多日所  
高族

少抄三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷  
抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷  
口

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

口

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

口

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

口

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

口

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

口

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

口

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

口

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

口

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

口

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

口

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷

抄言九卷三卷三十四卷三十五卷三十六卷三十七卷





一、古、新、中、下、各、各、の、  
名、を、記、す、事、也、

因、付、抄、白

中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

因、付、抄、白

中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

因、付、抄、白

古、新、中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

古、新、中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

古、新、中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

古、新、中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

因、付、抄、白

古、新、中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

因、付、抄、白

古、新、中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

古、新、中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

古、新、中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

因、付、抄、白

古、新、中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

因、付、抄、白

古、新、中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

因、付、抄、白

古、新、中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

因、付、抄、白

古、新、中、下、各、各、の、名、を、記、す、事、也、

因、付、抄、白

此の書は...  
九年四月...  
...

田代

九年四月...  
...

下福  
田代  
...

一 文...

町...

一 文...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一、  
 子孫は世に絶えず  
 其の徳は世に傳へ  
 らるるべし

新田公右衛門  
内膳右衛門

此の所は  
 徳川家  
 の御所  
 である  
 といふ

新田公右衛門

新田公右衛門

新田公右衛門

新田公右衛門

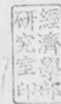
新田公右衛門

納言中納言



享保八年外年青

大野紅彦  
松重長尾  
音形志  
遠坂儀彦



東大・経済

5

1187